

受付番号:2017-1-1003

課題名:破裂性大動脈瘤手術における輸血量予測因子の後向き検討

1. 研究の対象

2010年01月～2018年12月に当院手術室において破裂性大動脈瘤に対して緊急手術を施行した方

2. 研究目的・方法・研究期間

破裂性大動脈瘤は急性の出血性ショックを呈し、迅速な大量輸血を必要とする疾患である。しかし、輸血製剤の供給は地域や病院機能によって様々で、つねに十分な血液製剤を確保できるわけではない。これまで破裂性大動脈瘤における生命予後と臨床因子の関連解析は多くの報告があるが、麻酔科学領域で輸血量と臨床因子の関連について検討した研究はない。そこでわれわれは当院手術室における破裂性大動脈瘤手術患者を後ろ向きに抽出し、統計学的に解析することで、必要十分な輸血量の予測因子について検討する。研究は2018年02月～2019年01月で行う。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録の情報:麻酔記録に記載された血圧、心拍数、血液検査、輸液・輸血量、等

4. 外部への試料・情報の提供

該当なし

5. 研究組織

本学の単独研究である。

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者:杉野繁一

所属:東北大学病院 手術部(麻酔科)

住所:仙台市青葉区星陵町 1-1 病棟東 3 階 麻酔科医局

電話 022-717-7321

◆個人情報の利用目的の通知に関する問い合わせ先

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先:「6. お問い合わせ先」

※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第 6 章第 16 の 1(3)＞

- ①利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を容易に知り得る状態に置くこと又は請求者に対して通知することにより、当該研究機関の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合

◆個人情報の開示等に関する手続

本学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、本学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

1) 診療情報に関する保有個人情報については、東北大学病院事務部医事課が相談窓口となります。詳しくは、下記ホームページ「配布物 患者さまの個人情報に関するお知らせ」をご覧ください。(※手数料が必要です。)

【東北大学病院個人情報保護方針】

<http://www.hosp.tohoku.ac.jp/privacy.html>

2) 1)以外の保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは請求手続きのホームページをご覧ください。(※手数料が必要です。)

【東北大学情報公開室】<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針 第 6 章第 16 の 2(1)＞

- ①研究対象者等又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②研究機関の研究業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③法令に違反することとなる場合